

演劇と身体

日本とヨーロッパの伝統演劇を例に

河村晴久
(観世流能楽師)

2019年**10**月**31**日(木)

17:20-19:00

上智大学四谷キャンパス

中央図書館**8**階 **L821**

使用言語：日本語

入場無料

事前申し込み不要

主催：ヨーロッパ研究所

【講演者プロフィール】



同志社大学大学院文学研究科修了。
父河村晴夫、および13世林喜右衛門に師事。
今までに「猩々乱」「石橋」「道成寺」「安宅
勧進帳」「屋島弓流」等を披く。
日本能楽会会員。重要無形文化財「能楽」総合
認定保持者。株式会社能楽舎代表取締役。同志
社大学客員教授など歴任。
平成17年度文化庁文化交流使（アメリカに一月
半滞在しハーバード大学などで活動）
演能のほか、大学での授業、講演、海外での講
演活動も多い。平成6年のワシントンでの公演
を始め、平成20年にはパリのユネスコ本部、平
成30年にはウクライナなど、海外での英語によ
る講演、公演は50回を越える。『対訳で楽しむ
謡本』（檜書店刊）解説等執筆中